

私にとって福祉とは

対馬市立豊玉中学校三年

根津 征生

私の両親は福祉の仕事をしています。ケアマネジャーとして働いています。また私は祖父や祖母と一緒に生活していて、福祉や、介護のことは何となく耳に入ってきます。そんな中で興味を持ったのが介護する人がいない。つまり介護の人手不足でした。人手がないとはどういうことなのか。私たちより、大人

は沢山いるのになぜ人手不足なのか知りたいと思いました。TVやネットを調べると、介護や福祉で働く若者の数が少ないということでした。またその為、現在の日本では外国人労働者の参入を会社が開始していて、約八割の事業所が外国人を採用しているのを知りました。また専門職の不足から、自分たちの職場で職員を採用することが難しく、派遣会社から労働者を雇わなければいけない状態だと知りました。「派遣会社から人を派遣してもら

えば良いじゃないか。』と思いました。その場合、雇った人にお金を払い、派遣してもらった会社にもお金を払うこととなり、倍近くの費用が掛かるのだそうです。

現在高齢化社会となっている日本ですが、僕の家周辺に住んでいる近所の方も、子供や、孫がいなくて、一人で過ごす人や高齢者同士で住んでいます。八十歳を超えて一人で頑張って生活しているお年寄りですが、毎年この七月や八月のような酷暑や昨年の大雪や寒い目が続いたときに不安に過していると思います。家族や親族が近くにいないと対応できないし、最悪命を落としてしまう危険もあります。対馬の高齢化率は四一・一九％で年々上昇しているようです。つまり百人中四十人が六五歳を超えていることに驚きました。また六五歳を超えると介護認定を受けることができませんが、結果が出るまでに、時間がかかりすぐに介護のサービスが欲しい人に行き届いていないことを知りました。

在宅介護サービスの中にヘルパーという仕事があります。介護認定を持っている方の家に行きお世話をする仕事です。その中に身体介護というサービスがあり自分でお風呂に入れなかったり、自分でトイレなどできない場合、三十分二十五円でお手伝いをしてくれます。僕は「この金額で手伝わてもらえるなら安い」と思っただけでお年寄りがお風呂に入るためには、移動や着脱、浴室での洗身、浴槽に入る時間を考えると一時間はあっという間に経ってしまふと教えてもらいました。例えば一日一回お風呂に入る当たり前のことを介護サービスを利用すると考えたときに、一回だと五〇〇円ですがそれを毎月行くと三日間として、一五〇〇円もお金が必要になります。高齢者の方はただええ年金が少なくご飯代や電気代などでも取られると考えるとかく高くて払えないと思ひました。そこで、まず僕にもできることはあるのでは。と思ひました。例えば、福祉や介護に関

する知識を勉強すること、困っている人の役に立てるかもしれません。はじめは出来なくても勉強など重ねることによって変わっていきけると思います。

次に自分にできることを考えてみました。地域の中でも活動ができることを考えると、それは、自分から高齢者の声をかけることです。朝、7おはようございます。や 7毎日暑いですね。などの何気ない会話をすること、その地域で過ごしている高齢者の方の状態で、

態を知ることができます。普段から会話をすること、大雨が降りそうときは、気を付けて、ましよう。と声を掛け合ったり、実際に大雨になって自分では助けられないときは、家族や地域の人などに呼びかけを行ったりしたいと思いました。地域の人たちが安心して暮らし、

せるためには福祉が必要だし、福祉の心を持つことが大切だと思います。